

社会科年間指導計画

第6学年

学習目標

- (1) 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする。
- (2) 日常生活における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。
- (3) 社会的事象を具体的に調査し、地図や年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、調べたことを表現するとともに、社会的事象の意味をより広い視野から考える力を育てるようにする。

授業の工夫

指導に当たっては、地域の実態を生かし、児童が興味関心を持って学習に取り組めるようにしたいと考えます。また、児童一人一人が自ら問題意識を持ち、自らの問題に対して、解決の見通しを立て、それに従って必要な情報を収集し、それらを活用、整理して問題を解決していく学習活動を構成していきたいと考えます。

年間授業計画

月	単元名	時数	
4	1. 日本の歴史 歴史ラリーマップ (1) 米づくりのむらから古墳のくにへ	9	<p>〔評価の観点〕 【社会的事象への関心・意欲・態度】 我が国の歴史と政治及び国際社会における我が国の役割に関心を持ち、それを調べることを通して、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情をもつとともに、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることの自覚をもとうとする。</p> <p>【社会的な思考・判断】 我が国の歴史と政治及び国際社会に関する社会的事象から学習の問題を見いだして追求・解決し、社会的事象の意味をより広い視野から考え、適切に判断する。</p> <p>【観察・資料活用の技能・表現】 我が国の歴史と政治及び国際理解に関する社会的事象を的確に調査したり、地図や年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用したりするとともに、調べた過程や結果を目的に応じた方法で表現する。</p> <p>【社会的事象についての知識・理解】 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解している。</p>
5	(2) 聖武天皇と奈良の大仏	7	
6	(3) 源頼朝と鎌倉幕府	7	
7	(4) 3人の武将と全国統一 (5) 徳川家光と江戸幕府	13	
9	(6) 江戸の文化をつくりあげた人々 (7) 明治維新をつくりあげた人々	13	
10	(8) 世界に歩み出した日本	7	
11	(9) 長く続いた戦争と人々の暮らし (10) 新しい日本 平和な日本へ	14	
12	2. わたしたちの生活と政治 (1) わたしたちの願いを実現する政治	9	
1	(2) わたしたちの暮らしと日本国憲法	7	
2	3. 世界の中の日本 (1) 世界と関係の深い国々	7	
3	(2) 世界の平和と日本の役割	7	<p>〔評価の方法〕 単元ごとのテスト・小テストなどを中心に、宿題・学習態度・発表など、普段の学習の様子を加味して評価をします。</p>
年間授業時数		100	